

税を大切に

甲斐市立玉幡中学校3年 三井 愛夢

私は学校の給食が大好きだ。栄養バランスも良くおいしくて、毎日の給食を楽しみにしている。私たちがいつも安心して給食を食べられるのは、給食センターがあるからということを知った。そこで、私は給食センターについて調べてみた。安心安全で衛生的な学校給食ができるまで、健康管理や服装など工夫されていたり、ミスなく確実に各調理工程をこなして効率良く調理されていることが分かった。その給食にかかる費用で、私たちが負担しているのは材料費で、それ以外は税金から支払われているようだ。

もし税金がなかったら、どんな生活をしていただろうか。安全な食事ができなかったかもしれない。そう考えると改めて税金の大切さが分かった。

給食に限らず、学校には多くの税金が使われている。教科書や教室にあるパソコン、実験器具や体育用具など、私たちがこれまで当たり前のように学習するために使ってきた物には税金が使われている。もし税金がなかったら、勉強も当たり前ではなくなってしまうのかと考えた。私は今、学べていることにも学べる環境があることにも当たり前の日常で、特別感を感じていない。でも世界中には、五人に一人の子供は学校に行けていない国だってあるのだ。それどころか、食事すらとれていない子供だっているのだ。そんな子供たちが日本の学校の様子や、教科書が無料で配布されていること、そして給食のことを知ったら驚くだろう。

当たり前のことが当たり前できていること。そこには税金が大切だということを忘れてはいけない。

私たち国民が納めている税金は、学校教育だけでなく、安全な生活のために消防や警察の活動に使われたり、綺麗なまちづくりのためにゴミ回収や道路整備にも使われている。税金に対して国民の不満があることは分かっているけど、これからは日本が平和で住みやすい国であってほしいから、なくなっちゃいけないと思う。

これから大人になって消費税だけじゃない税金を納める私たちは、もっと税金について知るべきだ。私は、今回税についての作文を書いたことで、当たり前のように身近にある物のほとんどに税が使われていることを知った。

私にできることは、元気に学校に行き勉強して、おいしい給食を食べて、立派な大人になることだ。そして税について関心を持って生活をしていくことだ。それが税と共に暮らし税を大切にすることだと思う。